

スピードキュービングジャパン 事業報告書

第3期

2022年 8月1日から 2023年 7月31日まで

2023年11月5日

一般社団法人
スピードキュービングジャパン

代表理事
大村周平



第3期にはSCJの活動指針となるビジョンとして、競技人口の定義と達成目標を設定しました。

この目標は従来のスピードキュービング文化の単なる延長線上ではなく、
スケールを拡大した文化としての確立を目指しています。

SCJ発足からずっとまん延していた新型コロナウイルスによる社会の混乱もようやく収束し、
ようやく新たな時代を切り開く準備が整ってきました。

変化を続ける社会情勢に適応しながら
スピードキュービングが今後も普及、発展を続けていけるよう、
愛好家の皆様にはいっそうのご協力をお願いいたします。

一般社団法人スピードキュービングジャパン
代表理事
大村周平

一般社団法人 スピードキュービングジャパン

2020年10月12日 設立, 会計年度 8月1日 – 7月31日

代表理事	大村周平
理事	荒木慎平
理事	上田浩登
理事	須賀慶
理事	濱田祐一



社員 13名 (2023年 7月31日時点)

スピードキュービングの健全な普及と発展のため、次の事業を行います。

- スピードキュービングを通じた、地域及び国際的な貢献と交流に係る事業
- 日本国内におけるWorld Cube Associationの公認する大会の統括事業
- 当法人独自に定める競技規則に基づく大会の統括事業
- その他、当法人の目的を達成するために必要な事業



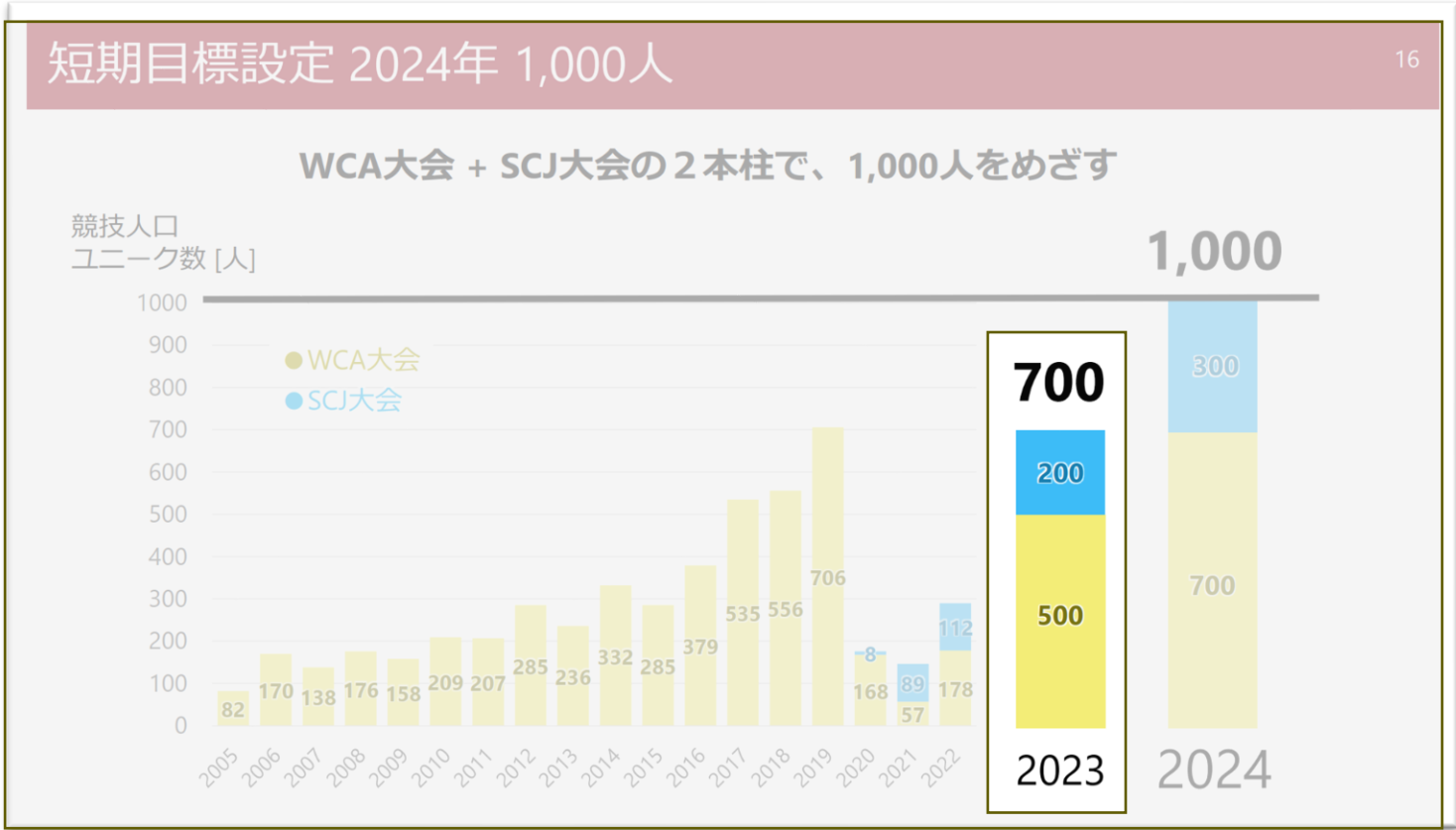
株式会社 メガハウス

競技人口拡大ビジョン

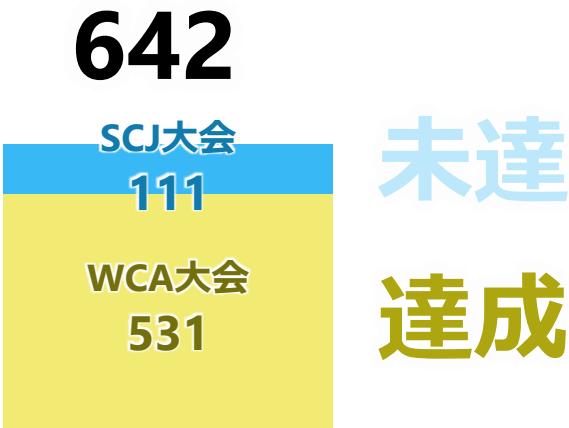
**2023年1月に
競技人口 ユニーク数 達成目標を掲げた**

**2024年 年間 1,000人
2030年 年間 10,000人**

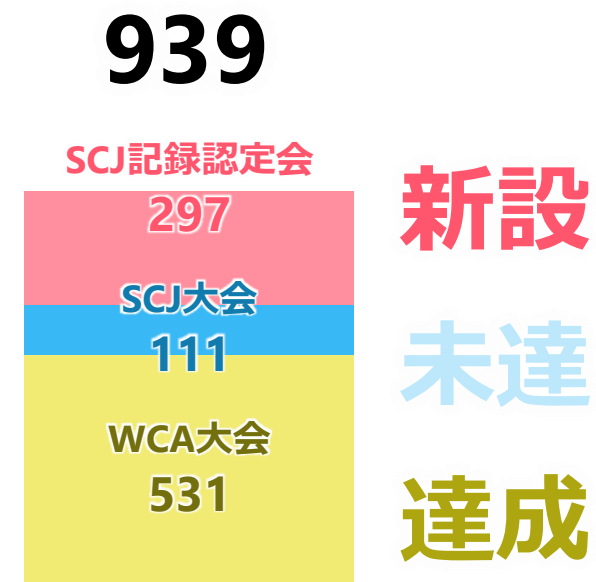
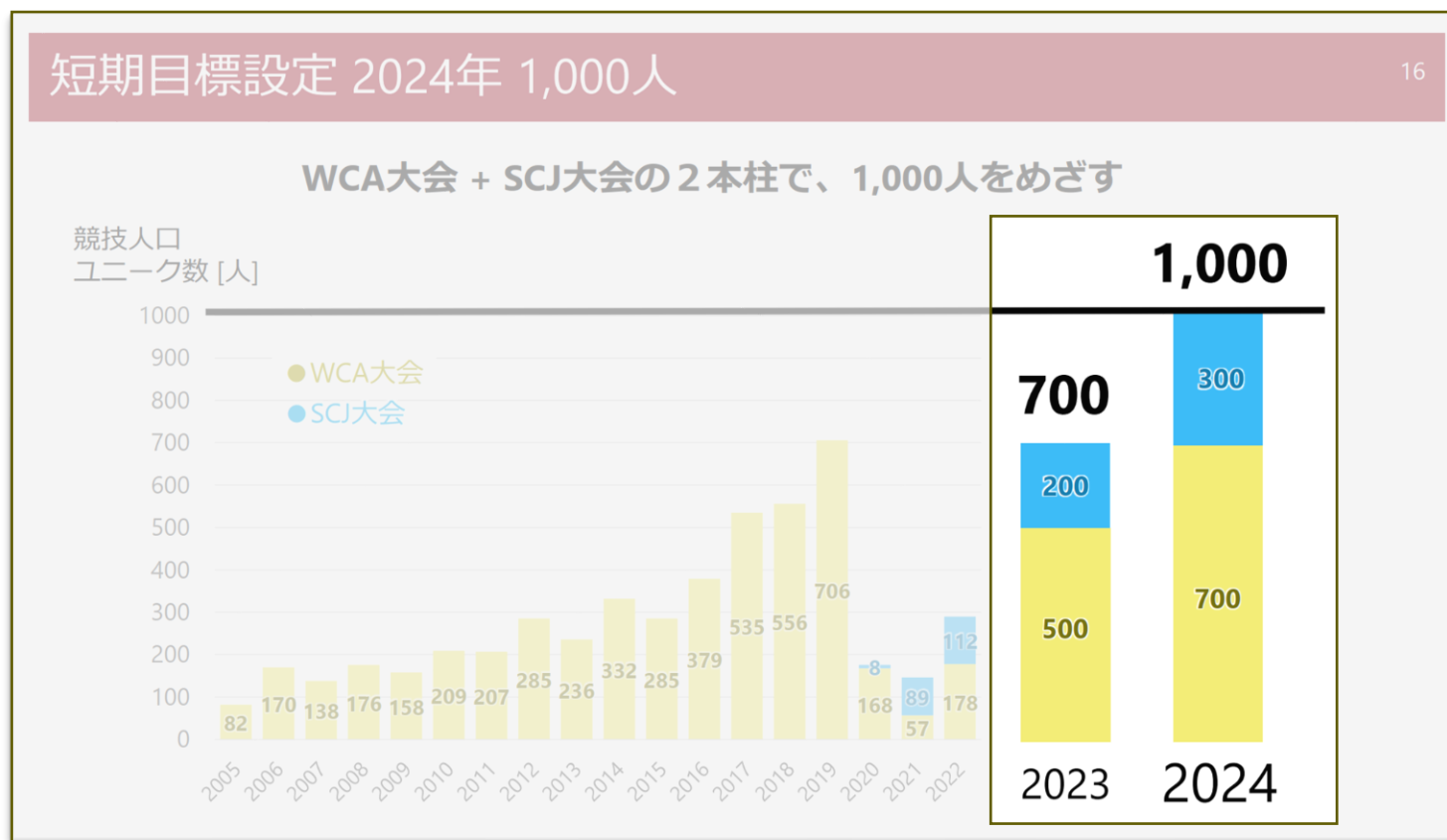
WCA大会+SCJ大会
競技人口ユニーク数 目標設定は順調に推移



2023年11月5日 時点
暫定値



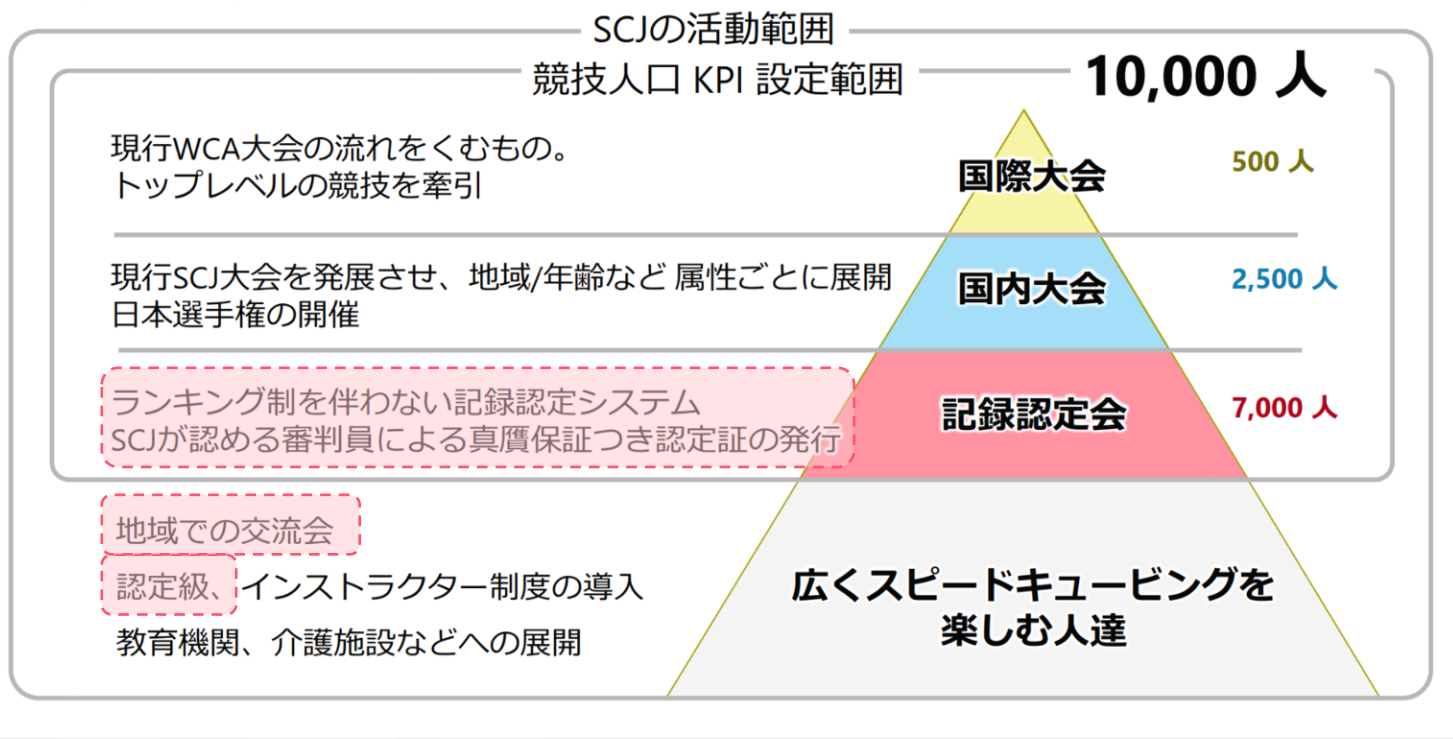
2023年途中から加わった SCJ記録認定会を加えることで、すでに2024年目標 1,000人 に迫る



ビジョン実現に向けて施策を展開中

10,000人の分布はどうなる？

21



1. 記録認定会を新設
2. 地域交流会発足を支援
(札幌、館林)
3. 段級位認定制度を新設

競技人口10,000人ビジョン スライド資料より引用

事業報告 WCA大会

参加者を多く受け入れるため、シリーズ大会を多く開催しました。

しかし参加需要の増加は吸収しきれず定員以上の参加申し込みをいただいております、
 今後はさらに受け入れ対策の強化が必要です。

開催日	大会名	シリーズ大会の適用
2022年 8月21日, 28日	用賀 夏 A/B	複数日程のシリーズ大会
2022年 11月3日, 6日	綾瀬 秋 A/B	複数日程のシリーズ大会
2022年 12月18日	大田BLD 冬	
2023年 2月12日	東京チャレンジ A/B/C	複数地域での 同日シリーズ大会
	Go x Go 京都	
2023年 3月25日	広島 春	
2023年 4月9日	東京チャレンジ / BLDチャレンジ	同日のシリーズ大会
2023年 5月27日	金沢 A/B	同日のシリーズ大会
2023年 7月8日	大田BLD	
2023年 7月17日	綾瀬 夏	

WCA大会運用方針、マニュアル、テンプレートについて、
実運用を通してアップデートを続けています。

OneNote 運営知見の文書化



WCA大会_企画運営ノウハウ	
00_はじめに	D01.大会コンセプト
A.PJ遂行のための予備知識	D02.問い合わせ先メモ...
B.一次承認_実行委員の...	D03.参加申込期間
C.企画の基礎設計	D04.申込受付方法
D.企画の詳細設計	D05.予算案
E.WCAT申請と公表準備	D06.参加費の支払い方法
F.参加申し込み期間	D07.開催種目
G.申し込み締め切り後の...	D08.競技卓の数
H.当日作業の想定	D09.タイムテーブル
I.事後整理	D10.定員

Planner タスク管理テンプレート

WCA大会運用タスク管理テンプレート

タスクを追加

実行委員会

- C01.開催日時の候補をリストアップ
- 利用できる可能性のある施設や日時、その他
- WCA DelegateやSCJ社員のスケジュールを予

0/2

実行委員会

- C02.会場利用制約の確認
- 施設指定による定員
- 施設の利用可能時間
- 設置、撤収を考慮した実際のイベント開催
- 物販など、収益イベントの可否
- 事前に利用会場を下見できるか？ 多少の手配
- 会場の前会場の備し物からの影響はあるか？

0/6

実行委員会 WCA SCJ

- C03.運営体制を決める
- 実行委員長
- 実行委員 (優先参加あり)
- サポーター (優先参加なし)
- SCJ社員 (一次承認の責任者)
- WCA Delegate
- その他、実行委員内で専任の役割を決めた
- 以上のメンバーを議事録に明記した

0/7

実行委員会

- C04.予算規模の概算
- 過去に行われた大会の決算書を見て予算感
- 会場利用費を含めた支出の概算を試算した
- スポンサー収入など、参加費以外からの収
- 入を概算し、参加費を試算し、差額を
- 参加人数による損益分岐点を試算し、最悪
- 赤字になった場合の責任能力を確認
- 参加費支払い方法の想定 (事前決済には実

0/7

実行委員会 WCA

- D03.参加申込期間
- 始まりは日曜日の午前10時を基本とする。
- WCATが承認し、大会一覧に掲載してから

0/2

実行委員会 WCA SCJ

- D04.申込受付方法
- WCAサイトを使うか、SCJなど独自サイト
- を使うか。
- WCAサイトでは、実行委員の優先参加の
- 実装不可能な場合の制約があるためSCJペ
- ージを使うか。

0/3

実行委員会 WCA SCJ

- D05.予算案
- 過去のテンプレを確認した
- 必須の支出額
- 実行委員人件費
- 参加人数ごとの参加費準備を計算
- 最悪のケースでも赤字にならないことを確認

0/3

実行委員会 WCA

- E01.WCA大会ページセットアップ
- 新規大会の作成はDelegateのみ可能。その
- 後の編集作業は実行委員が担当する。基
- 本的には企画書の内容を書き写せば良い。

0/3

実行委員会 SCJ

- E02.SCJ大会ページセットアップ
- システム担当をWCA大会ページの実行委
- 員に依頼し、SCJページのリンクを貼って、WCAページを
- システム担当者にSCJページ作成を依頼した
- SCJページ完成後、WCAページと連動しない
- SCJページ確認後、システム担当をWCA

0/3

WCA

- E03.WCATに大会申請する

0/3

実行委員会

- E04.WCATの承認および備考を確認
- 企画内容のレビュー結果によっては、承認
- まで数日を要する可能性がある。
- また、予定していた申し込み開始時期が強制
- 的に変更されるかもしれない

0/3

実行委員会 SCJ

- E05.告知作業
- SCJサイトに大会案内を掲載するための告知
- SCJの公式SNSに掲載するための告知文を導
- 実行委員の個人SNSなどでの拡散を希望

0/3

WCAレポート (英語) SCJレポート(日本語)

反省点を記録し、
他国のDelegateや
実行委員へと共有



事業報告 SCJ大会

SCJ大会について

SCJ大会では、WCA大会との差別化要素として、開催地域に根ざした参加制限や、年齢別ランキングなどを導入しています。

集客対象者の規模を適切に設定することで、
企画運営の作業労力を各地域コミュニティ内で自給自足できる適切な範囲にとどめ、
全国各地への大会開催を促していきます。



SCJ大会 企画実績

東海地方だけでなく、関東や中国・九州など新たな地域でも開催しました。

参加地域制限をすることにより、
申込み競争の過熱を抑制し、地元の方々が大会に参加できる機会が増えました。
さらにコロナ禍における地域をまたいだ移動自粛に即した運用ができました。

開催日	大会名	対象地域
2022年 8月12日	下関 記録会	中国・九州など
2022年 9月17日	TSC 記録会	東海
2022年 10月30日	東東京 記録会	関東
2023年 1月21日	TSC 記録会	東海
2023年 4月22日	TSC 記録会	東海
2023年 7月22日	東海スペース 記録会	東海
2023年 7月29日	館林 記録会	北関東

事業報告 SCJ記録認定会

SCJ記録認定会 開催実績

従来の大会とは一線を画す新たな試みとして、SCJ記録認定会を立ち上げました。

運営負荷を大きく削減し、開催ハードルを下げることをねらったものです。

イベント当日の認定証発行のみを目的とし、
記録蓄積によるランキング作成や、webでの結果発表を省きました。

参加者・運営メンバーともに大きな反響をいただき、
今後の事業として確立していきます。



3x3x3キューブ 1面完成 記録認定会

3x3x3キューブ 6面完成 記録認定会

パズル完成タイムと段級位の認定証を発行します。

事業報告 コミュニティ

スピードキュービング 段級位基準

Ver 1.0
2023年 7月3日 発行

スピードキュービング 段級位基準を公開しました。

あくまで基準を設定しただけで、
SCJの公認などを必要とするものではありません。

スピードキュービングを楽しんでいる人、
これからはじめる人の目標設定として
広く活用していただくことを目指しています。

段位の対象：自力で 3x3x3キューブの6面を そろえられる人				
段位	9段	10秒 未満で	6面完成	
	8段	15秒 未満で	6面完成	
	7段	20秒 未満で	6面完成	
	6段	25秒 未満で	6面完成	
	5段	30秒 未満で	6面完成	
	4段	45秒 未満で	6面完成	
	3段	1分 未満で	6面完成	
	2段	2分 未満で	6面完成	
	初段	解説を見ないで	6面完成	
級位の対象：解説を見ながら 3x3x3キューブを そろえられる人				
級位	1級	解説を見ながら	6面完成	(PLL エッジ)
	2級	解説を見ないで	上側面の角完成	(PLL コーナー)
	3級	解説を見ながら	上側面の角完成	(PLL コーナー)
	4級	解説を見ないで	上面完成	(OLL)
	5級	解説を見ながら	上面完成	(OLL)
	6級	解説を見ないで	水平中段完成	(F2L)
	7級	解説を見ながら	水平中段完成	(F2L)
	8級	解説を見ないで	1面完成	(完全1面)
	9級	解説を見ながら	1面完成	(完全1面)
	10級	解説を見ないで	十字完成	(クロス)
	11級	解説を見ながら	十字完成	(クロス)

級位の基準は、初学者に向けてSCJが推奨するCFOP法に沿っています

各地のコミュニティ発足に向けて、
札幌、館林などいくつかの地域で交流会開催をサポートしました。

新たな地域での立ち上げに関する
ノウハウ提供、イベント進行の支援を今後も継続していきます。



2022年5月、札幌での交流会のようす

事業報告 事務局

広報活動

本事業年度の主な案件

- SCJ 直接事業
 - ルービックキューブ
チャリティーオークション記念パーティー
於 ハンガリー大使館
 - セブンカルチャークラブ
ルービックキューブ教室
- メディアへの人材紹介
 - TBS「神業チャレンジ」
 - マクドナルド ハッピーセット web広告



ルービックキューブver.3.0
完全攻略 公式ガイドブック
永岡書店

書籍の監修をいたしました。
全国の書店にてお求めいただけます。



利用中のサービス



Outlook



OneDrive



Word



Excel



PowerPoint



OneNote



SharePoint



Microsoft Teams

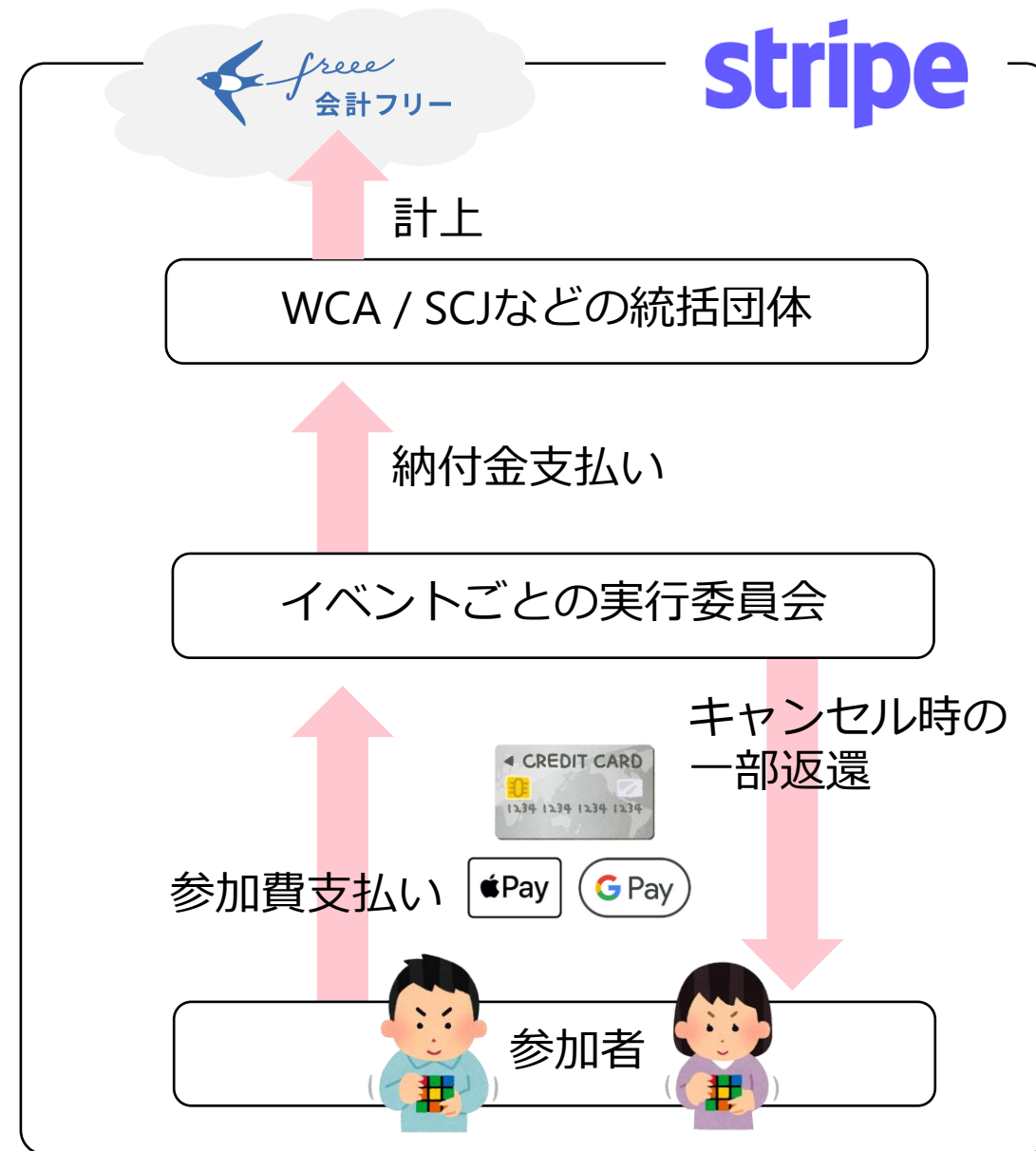


キャッシュレス決済システム実装

以下のような目的をねらい、

Stripeプラットフォームを採用した
キャッシュレス決済システムを実装し、
ご好評を頂いています。

- 当日受付にかかる時間を短縮し、
イベントに割く割合を増やす
- 金銭トラブルリスクの低減
- イベント参加キャンセル料金の導入による
適切な大会参加需給バランス調整



決算概要説明

経常収益の主な項目

- ・ スポンサーからの活動協力金
- ・ SCJを契約窓口とするメディア協力費
- ・ WCA大会/SCJ大会の管理手数料として、
実行委員会よりいただく納付金
- ・ 「ルービックキューブ ver3.0 完全攻略ガイドブック」
書籍監修料及び印税

経常費用の主な項目

- ・ SCJ社員 人件費
- ・ 組織基盤サービス利用料
- ・ 備品の購入
- ・ 各地コミュニティ支援の交通費
- ・ 永井税理士事務所 決算委託手数料

正味財産増減計算書の要旨

自 2022年8月1日 至 2023年7月31日
単位：円

科目	金額	科目	金額
経常収益計	2,136,792	税引前当期一般正味財産増減額	-497,658
経常費用計	2,634,489	法人税、住民税及び事業税	70,000
当期経常増減額	-497,697	当期一般正味財産増減額	-567,658
経常外収益計	39	一般正味財産期首残高	165,205
経常外費用計	0	一般正味財産期末残高	-402,453
当期経常外増減額	39		
		正味財産期末残高	-402,453

貸借対照表の概要

負債・正味財産合計 496万円から 第3期の赤字 40 万円を引き、
財産合計は約456万円となりました。

SCJは非営利徹底型の一般社団法人であり、
第3期は収益事業を行っていないため国税は非課税ですが、
市民税と県民税について年額70,000円が課税されます。

貸借対照表の要旨

2023年7月31日現在
単位：円

科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	
現金及び預金	4,558,661	未払金	4,715,114
		未払法人税等	70,000
		前受金	176,000
		負債合計	4,961,114
		正味財産合計	-402,453
資産合計	4,558,661	負債・正味財産合計	4,558,661